

■八幡市住生活基本計画 パブリックコメントの要旨及び市の考え方

- ・実施期間：平成26年1月31日(金)～2月21日(金)
- ・実施方法：ホームページへの掲載、公共施設等での閲覧（12施設）、市役所での閲覧
- ・意見数：3名

No	意見	市の考え方
1-1	計画案の中に、成果指標をもっと具体的な施策として記述すべきである。	成果指標に関しては、P90のとおり、個別の施策の相乗効果として現れる4つの目標ごとの成果の評価としています。 また、指標は量的・質的に判断する形で設定しています。そのため、目標として具体的な数値で示すものと、実施状況を判断するものとを設定しています。
1-2	安全・安心に暮らせるまちづくりのためには、2年続いた浸水被害を防ぐ対策が最重要である。そのためには、八幡森排水場のみでは限界があることがはっきりしたことから、上津屋樋門への排水場設置を急ぐべきである。	浸水対策は本市の重要な課題として認識しております。 住宅を中心とした計画である本計画での具体的な対応としては、P72「3)地域防災計画等との連携」に取り組むこととしています。
1-3	相続等で売却された土地が小規模開発が行われることで雑然とした住環境が進行してしまう事象への対策及び空家を減らす対策及び空地の適切な活用対策を所有者並びに民間事業者に対して行政が先頭に立ってサポート支援を行っていくべきである。	開発行為・建築行為の際は、申請者に対し、八幡市開発指導要綱を遵守した、良好な住宅地の形成を要請しております。本計画では、P75「15)良好な民間住宅の誘導」を具体的な施策として掲げています。 空き家対策については、P81「32)中古住宅流通の促進」「33)空き家対策の検討」を具体的な施策として掲げています。 今後、空き家や空き店舗の活用方法等を関係機関と協議し、検討します。

No	意見	市の考え方
2-1	<p>豊かな自然が多く残っている男山地域にこれからも住み続けたいと思っている方が多いと思います。しかし、この地域も高齢化が進んでいます。</p> <p>基本計画に述べられている高齢者が安心して暮らせる環境づくりの具体化を積極的に進めて欲しいと思います。</p>	<p>高齢者への対応は本市の重要な課題として認識しております。</p> <p>高齢者が安心して暮らせる環境づくりとしては、具体的施策の P80 「29) 高齢者等が安心して暮らし続けられる生活環境づくりの推進」、「30) 多様な住宅ニーズへの対応の支援」で記載しています。</p>
2-2	<p>病院と連携しての送り迎え、買い物が困難な人への支援体制等、直接困っている方の要望をしっかりと聞いてお互いの知恵を出し合って問題解決のために協力することが必要かと思います。</p>	<p>具体的な取り組みに関しましては、市民、京都府、事業者及び本市関係部局等と連携し、検討を行います。</p> <p>また、各種支援に関しましては、まず重点プロジェクトの男山地域での活動をモデルケースとして検討し、全市に波及させていきたいと考えています。要望につきましては、P86 での男山地域でのきっかけ活動を検討する際に住民の皆様との協議の場 (WS 等) にてご意見をお聞きする予定としています。</p>
2-3	<p>これからは、是非コミュニティ活動や生活支援および在宅での公的な介護サービスの対応など、住み続けられるための支援の充実をして欲しいと要望します。</p>	<p>具体的な取り組みに関しましては、市民、京都府、事業者及び本市関係部局等と連携し、検討を行います。</p> <p>また、各種支援に関しましては、まず重点プロジェクトの男山地域での活動をモデルケースとして検討し、全市に波及させていきたいと考えています。要望につきましては、P86 での男山地域でのきっかけ活動を検討する際に住民の皆様との協議の場 (WS 等) にてご意見をお聞きする予定としています。</p>

No	意見	市の考え方
3-1	<p>事前調査において、「ライフステージに応じた暮らしができる住まい・まちづくり」を目標にするならば、地域ごとの空き家率、団地においては階毎の住人の年齢・家族構成を含めた空き家率調査が必要です。特にエレベーターがない集合住宅団地においては、幼児を持つ子育て世帯・高齢者世帯が何階までに多く住んでいるのかの傾向を把握しておく必要があります。</p> <p>これらの数字をつかんでいなければ対策としての計画立案ができないと思います。</p> <p>アンケート調査でも、エレベーターのない集合住宅が多い男山地域で、住宅に対する不満、市外に移り住みたいとの数字が高くなっています。</p>	<p>施策を展開する際は、きめ細かな状況の把握は必要であります。</p> <p>しかしながら、本計画での現況調査（アンケート調査）は、市全体の傾向をつかむために実施しておりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>今後、具体的な施策を展開する際は、より詳細な調査について検討します。</p>
3-2	<p>具体的な施策において、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各項目に数値目標がありません。 ・「総合的な」「自然との調和」「良好な」「美しい」「豊かに育つ」「適正な」など、目標と同じレベルの言葉の使用となり、具体性を持たない抽象的な施策内容となっています。 <p>（実施計画ではないので、例示、数値などにより実施計画への具体的方向を示すべき）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項がありますが、成果を推し量る指標設定ができていません。具体的施策毎の成果指標を示すべきです。 	<p>目標に関しては、P90にて成果指標で示しています。</p> <p>成果指標に関しては、個々の施策を実施することに対する住生活個別の施策の相乗効果として現れる4つの目標ごとの成果の評価としています。</p> <p>また、指標は量的・質的に判断する形で設定しています。そのため、目標として具体的な数値で示すものと、実施状況を判断するものとの設定しています。</p>
3-3	<ul style="list-style-type: none"> ・これらの具体的施策に対する、計画実現スケジュールが示されていません。少なくとも総合計画終了時の平成28年度までの進行スケジュールを示し、完了が難しいものについては、その後の目標スケジュールを示すべきです。 ・平成28年度までの計画にも関わらず、 	<p>本計画につきましては、計画期間を平成26年度から平成35年度までの10年間の計画として、策定しました。</p> <p>今後、本計画で設定した目標の実現に向けた施策の展開を検討する必要があり、現時点では、具体的なスケジュールをお示しすることができませんが、今後具体のスケジ</p>

	<p>目標値設定が平成 35 年になっています。26 年度、27 年度、28 年度及びそれ以降の成果目標設定が必要です。これらの具体的施策に対する、計画実現スケジュールが示されていません。少なくとも総合計画終了時の平成 28 年度までの進行スケジュールを示し、完了が難しいものについては、その後の目標スケジュールを示すべきです。</p>	<p>ルールを示せるよう努めます。</p>
3-4	<p>基本計画として、計画のために必要な調査や現状分析は指摘項目以外はできていますが、計画内容そのものの具体性（スケジュールを含む）が希薄です。具体的かつレベルを上げた計画策定を要望します。</p>	<p>施策を展開する際は、きめ細かな状況の把握は必要ですが、本計画は、住生活に係る幅広い分野での計画となっています。ご理解をお願いいたします。</p>